



京都部部報



BULLETIN

第2号／2013.2 発行

京都部部長主題 『出あい』『ふれあい』『磨きあい』

西日本区理事主題

先頭に立ってワイズの光を輝かそう——クラブで、地域で、国際社会で

“Let Y'smen Light Shine before Others—In the club, in the community, in the world”

国際会長主題

“Be the light of the world” “世を照らす光となろう”

アジア地域会長主題

“Years bring wisdom” “歳月はY'sをワイズ(賢者)にする”

「走り抜けた前期 味わう後期」

第17代京都部部長 船木 順司
(京都トップスワイズメンズクラブ)



京都部部長としての公式行事、2012年6月24日(日曜日)京都YMCAリトリートセンター夏季準備ワークよりスタートし京都部18クラブ公式訪問、事業懇談会開催、西日本区9部会訪問等、多忙な日々を過ごしてまいりました。京都部公式訪問では各クラブより心温まる「おもてなし」を頂き、各クラブの個性豊かな事業活動を垣間見させていただきました事を心より感謝致します。その特色ある活動をあらゆる場面で披露させて頂いております。

さて、この半期京都部の各事業活動を皆様に報告いたします。

YMCAサービス・ユース事業・・・3度の懇談会により、今期京都部の柱ともなるユース支援に付いての議論を重ねていただいております。過去京都部会計にて予算化していたグローバルコミュニティースタディーやユースコンボケーション等を各クラブの協力金にて今期も行う事が出来ることと成り、ユース組織の発足も間近、京都部の歩みにも変化が生じて参りました。

地域奉仕・環境事業・・・今期、地域奉仕・環境事業主任と各部会を訪問、蚊帳を幾度となく貼り、貴重な体験をさせて頂きました。皆さんご存知、国際UGP5ヵ年計画ロールバックマラリア事業です。京都部では、部会とAIDS文化フォーラムにて、主査と主任が大活躍いたしました。懇談会に於いても主査がメイン事業と紹介し、ロールバックマラリアの詳細な説明。国際UGP5ヵ年計画ロールバックマラリアを知らないワイズメンは皆無でしょう！

EMC事業・・・部長公式訪問、西日本区9部とも、話題に成るのはメンバー増強、京都部も喘いでおります。昨年3月に500名に到達しましたが、今期前期半年報494名でスタート1月には500名に再び到達。2度の懇談会により主査によるE・M・Cに付いてのレクチャーや各クラブのメンバー獲得の手法が披露されました。やはりMCの濃度によりメンバーが増減する事を再認識いたしました。

ファンド事業・・・今期2回の懇談会に於いてファンド事業主任を迎え、国際、アジアエリアの観点からファンド事業の日本が果たす役割や、BF・EF・JWFのファンド資金の活用状況を各クラブ代表の皆様にご紹介いただきました。そして、第二回懇談会に於いては使用済み切手の収集を部単位で行い、おおよそ20キロ程の使用済み切手が集まりました。毎回懇談会の後半はクラブ内ファンドの紹介とクラブ間でのファンド交流話に花が咲きます。年々クラブ間でのファンド商品の紹介採用が増えてきています。各クラブが良いファンド商品をそれぞれ受け入れる。まさにファンド交流が盛んになってきた京都部です。

交流事業・・・ファンド交流が盛んになりつつ有る事は上述の通り、クラブ間交流は以前より合同例会や共同イベントの多くある京都部です。今期は初めて合同例会を持ったクラブもあります。広がりは無限です。IBC・DBC状況は、今期九州部部会に於いて京都ZEROクラブと九州阿蘇クラブを皮切りに3月3日京都グローバルクラブと宇都宮クラブが締結、西日本区大会では京都クラブと三島クラブが東稜クラブと名古屋グランパスクラブがDBC締結を行うと報告頂いております。今期4クラブのDBC締結になります。

広報事業・・・今期広報事業主査の下にPR委員会が発足しました。前期2月より委員会が毎月開かれております。京都部HPの刷新、フェスブックの推進を京都部の皆さまが正しく楽しく使える様にと委員の皆さまが日夜知恵をしばって頂いております。ワイズメンズクラブPRに付いては、主査が各クラブイベントにワイズ旗を担ぎ細かな心使いで外部の皆様々にアピール、このような地道な活動が必ず身を結ぶのだと思います。後半も地道にPR！

メネット事業・・・メンバーを支えるメネットの皆様、主査が常に各クラブのメネットの皆様と交流を交えメンバーの力添えを訴えて頂いております。大きな事業はなかなか難しいのが現状ですが、心のこもった活動を常に心がけて頂きメネットの皆さまとの楽しい交流を心掛ける事を主眼に。メネットの事業活動こそがメンバーの力を引き出す原動力だと思っております。皆様メネットの皆さまと楽しく歩みましょう！

京都部事業委員会は上記の様な進捗状況です。

最後に、この半期ラポール (THE YMCA news 掲載)、相手と向き合って心合わせてゆくこと。を心がけ多くの方々と話をさせて頂きました。

クラブやメンバーの皆様には目標があります。その目標に明確な目的を持たせれば意味ある成功を得る事ができる。そんな事を再認識させて頂いた半期でした。

後半期も目標、目的を明確に歩んでゆきたいと思っております。皆様ご協力の程宜しくお願ひ致します。感謝



役員・事業主査 下半期に向けて



次期京都部部長 桂 厚子

京都部次期部長、当初私には大きすぎる肩書きを持って余し正に右往左往していましたが、船木部長他キャビネットの皆様の暖かいご指導をいただき、方向性だけ確信出来たところでした。

自クラブしか見ていなかった私がこうやって現京都部の働きを見せていただき、部長やいろんな経験者のお話を聞かせていただくたび、身の引き締まる毎日です。

傍で拝聴拝見してわかった事は、いろんな問題を確実に討議し納めていかれる事、広い視野を持ってその事の周辺に起こる事柄を想定し堅実な処置をされる事、そして最終には全員の同意に持っていかれる事等勉強させて頂いております。

西日本区京都部17年の、連綿と続く人の心の優しさに触れる機会の多さに、改めて素晴らしさと誇りを感じております。次期は今までの築いて来られた文化や活動や心意気を継続し、もっともっと外の社会にも広報に努力をして行きたいと思っております。又飢餓、戦争、災害、病気の苦しみに闘っている多くの人たちの世界で、まして、身近な東日本の震災もまだ癒えずですが、それでも平和な日本に生かされているこの感謝を私たちは活動や奉仕へ繋げて行こうと思っております。

残り後半を前に、ウェストクラブメンバーは影になり日向になりで、応援支援体制が日に日に固まりつつあります。メンバー、役員の方々と一緒に、もう半年勉強させていただく所存です。



直前部長 前 登

第17期京都部も半年が経過して、忙しい日程も一息ついた時期でしょうか。部長ほかキャビネットの皆様、事業主査、会長の皆様には大変お疲れ様です。船木部長にはたいへんアグレッシブな活動で、常に京都部の先頭を走って、クラブ訪問や他部会の訪問をしていただきました。その行動力に改めて感謝を申し上げます。

下期にまだ行事は多々残っておりますが、これからは事業報告や西日本区への献金などの締切、取りまとめが大切な時期ともなります。西日本区大会の最後まで気を抜かず、いままでの活動やその成果をアピールしていただきたいと思っております。京都部は西日本区でも最大の部でその成果は常に注目されます。各役員の皆様にはそんな事情がある意味ワイズメンとしての励みに思い、悔いの残らないように下期での有終の美をお願いいたします。そして「役職がそのワイズを選ぶ」の語源通り、もうひと踏ん張りエンジンを掛け直してみてください。

最後にもう準備が進んでいるのでしょうか、次期「桂部長」と次期役員の皆様はその成果がスムーズにボタンタッチされることを願っております。



監事 阪田 民明

京都部17期も上半期を終え、残された事業も残りわずかとなりました。京都部では船木順司部長のもと、部長標語『出あい』『ふれあい』『磨きあい』を掲げ、部役員の皆様のご協力によって、ここまで多くの事業を順調に進めてきました。特に10月のAIDS文化フォーラムや11月のワイズデーでは、たくさんの方々にご参加いただき、大変素晴らしい成果を得ることが出来ました。これも皆様が行って来られた熱い議論や前向きな姿勢から生み出された、チームワークと団結力の結果ではないかと思っております。

下半期では、上半期で得たチームワークや団結力を生かし、各クラブにもご協力いただき、为国EMC主査を中心となって、是非、京都部600名を目指していただきたいと思っております。

各クラブにおかれましても、会長の皆様を中心に、上半期では多くの成果を挙げられて来られたことと思っております。下半期でも残された行事や事業を、皆様の熱い思いで達成されることを期待しております。また、部役員、各クラブの会長の皆様は、今期の経験と多くの情報を提供され、次期へのスムーズな引継ぎが出来ますようお願いいたします。

私も部役員として4年目。残された月日を無駄にせぬよう、監事としての役割を果たすべく、微力ながらも精一杯の努力をしていきたいと思っております。



京都部書記 河原 正浩

時が経つのは早い物で、上半期を終え下半期がスタートしました。部長標語『出あい』『ふれあい』『磨きあい』を頭にたたき込み、部と各クラブ様とのパイプ役をさせて頂く中で難しさを感じた半期でした。西日本区からの情報等を各クラブ様へ伝達し、部が主体となり事業を進めるのではなく皆様にご理解を頂き共に事業に取り組んでこそ、京都部の発展に繋がるのではないのでしょうか。又各事業主査懇談会には、各クラブ様多数のご出席頂き感謝申し上げます。1月には役員研修会があり、次期が始動するなかでスムーズな引継をし、あと第3回、第4回評議会に向けて役割を果たしたいと思っております。残り半期皆様のご理解、ご協力宜しくお願い申し上げます。



京都部書記 新山 兼市

おかげさまで京都部の書記をさせていただきアツという間に半期・準備期間から含めると1年が過ぎました。

京都部の役員をさせていただくことで、西日本区の役員・京都部の役員・各クラブの会長・委員長その他出逢ったたくさんの方々とは本当にいいご縁をいただきました。

そして肝心要の自クラブの強力なサポート・おもしろいものと今があり、この機会をいただいたことに本当に感謝です。

このご縁が、間違いなく今後私のワイズライフの宝に指針に転換になる経験だとも思います。この経験を自クラブに少しでもいいかせるように持ち帰ることが自分自身の課題だと思っております。

あと半期ご縁をいただいたたくさんの方々からパワーをいただき

あ・お・い・く・ま 気を抜かず初心にかえてさらにブラッシュアップしていく所存でございます。今後共、ご指導・ご協力宜しくお願い致します。



京都部会計 河原 祥博

皆様のご協力のおかげで無事上半期が終えることが出来た事を心より感謝申し上げます。また京都部各クラブの皆様には上半期部費の納入頂きまして有難うございました下半期の部費納入も宜しくお願い申し上げます。

船木部長の下、キャビネットとしての活動を通じ役員、各クラブ会長、ワイズメン、メネットの皆様に出会えた事が自分自身の宝と思いこれからの活動に生かしていきたいと思っております。残すところ半期になりましたが気を引き締めてまた新しい出会い、発見、勉強が沢山ある事を楽しみにやっていきたいと思っております。ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



京都部事務局長 加藤 信一

京都部の一員となってもう半年が過ぎ去って行きました。上半期は皆様のご協力のおかげで無事に終えることが出来た事を心より感謝いたします。各役員皆様・各クラブ会長様にはメールばかりで連絡を取らせていただき申し訳ないと思っております。あと残り半年もあります。下半期もなにかとメールで連絡をさせて頂くとは思いますが皆様のお役に立つように頑張っていきたいと思っておりますので協力をお願いいたします。



YMCAサービス・ユース事業主査 山田 英樹

京都部のワイズメン・メネットの皆様、平素よりYMCAサービス・ユース事業遂行に多大なご指導ご協力を賜りましてありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

今期のYサ・ユース事業では『若者へワイズダムの継承』という主題に基づき、ユース支援に力を注いで参りました。各クラブ会長様やYサ委員長様に積極的にお声掛けし開催したYサ懇談会もすでに第三回を数え、例年にも増して活発なご活動をいただいております。

様々なお声の中より新たな手法によるユース支援の一環とし、京都YMCAのリーダーを海外のYMCAへ送り出すグローバルコミュニケーションスタディーやワイズメンに連なるユースを国際大会へ派遣するユースコンボケーションに対しましても、各クラブへ支援のお願いを致しましたところ大変多くのご協力いただき、大幅に当初の目標を上回る結果となりました。重ねて御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

そして期首より皆様にお話を致しておりますオール京都部によるユース組織の設立に対しましても多数のクラブの皆様よりご賛同をいただきよい発展の運びとなりました。

こちらに関しましては京都YMCAの登録ボランティアグループとして出発いたしますので京都YMCA活動委員会、ボランティアビューロー専門委員会の皆様とも協議を深めながら進めて参ります。4月に夜桜フェスタと同時開催されますY Yフォーラム（今年はユースのYが加わります）にて何らかの形でお披露目出来たらと考えております。

今期の折り返し地点は過ぎましたがまだまだYサ事業は続いて参ります。

数多くあるサービスクラブには望むべくもない、ワイズメンだけに与えられた求心力とも言えるYMCAサービス事業、皆様の絶大なるご協力なくしては成立しようがありません

今後とも倍旧変わらませずご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

役員・事業主査 下半期に向けて



地域奉仕・環境事業主査 坂下 昌史

京都部各クラブのワイズメンの皆様には、8月に開催いたしました地域奉仕・環境事業懇談会では42名という大変多くの方にお集まり頂きありがとうございました。

これを皮切りに10月には「第2回AIDS文化フォーラムin京都」のサポートとして参加させて頂きました。市民・学生・関係機関等2日間で延べ1,000人を超える方が来場になり、部としてはみやびクラブの全面協力の下、森乃福郎氏より「福祉落語」を講演していただきました。11月にはワイズデーでの「美しい祇園祭をつくる会」さんの展示や、西日本区5ヵ年計画のロールバックマラリアの展示、コンドームの無料配布もさせて頂きました。ワイズメンだけではなく多くの方と共に、ふれ合う事業に参加とご協力頂き大変感謝いたしております。京都部の皆様と多くの事業でのふれあう機会を得た事が、地域奉仕・環境主査をさせて頂き、大変な嬉しさと、喜びに感謝させて頂きました。また、各クラブ様の、温かい心で事業に取り組んで居られます姿を見て頂き、ワイズメンズクラブの「素晴らしさ」感じさせて頂きました。下半期にも、2月24日に自身所属のクラブで京都めいぶるクラブの皆様にお力を借り、2期連続の京都部チャリティボウリング大会のホストとし参加し、盛り上げていきたいと思っております。CS、FF、TOFと続きますが、どうか皆様の心温かい奉仕の心での献金をお願い致します。残り数か月頑張りますので、京都部の皆様のお力を再度お借りしたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



EMC事業主査 為国 光俊

今期は、京都部が常時500名を維持し、さらに600名を達成できるようにとの目標を持って、各クラブの皆様方のご理解をいただきながらスタートを切らせていただきました。早いもので上半期も終わり、9月にはEMC懇談会、11月にはEMC懇親会を開催することができました。この紙面をお借りしてご出

席いただきましたメンバーの皆様にお礼を申し上げます。

9月のEMC懇談会は、京都部18全クラブの出席を得まして開催することができ、新入会員獲得に向けて2V例会を企画された事例、事前オリエンテーションを実施されている事例、新入会員のフォローアップ研修会をおこなわれた事例を3クラブから発表、あわせて各クラブからは今期の抱負や目標について一言をいただきました。11月のEMC懇談会では、映像を使った例会を開催されて多数の入会候補者をまねかれた事例を紹介し、そのときの映像も披露して参加者全員が情報を共有する機会となりました。

EMCといえば新入会員獲得が大きな課題となりますが、EMC委員会が候補者を連れてくるという図式から、クラブ全体の事業として取り組んでいくことに意識を変えていくと、クラブ内の連帯も生まれますし、クラブ内での「M（メンバーシップ）＝メンバー間の交流・親睦」や「C（コンサベーション）＝クラブの健全な維持・意識向上」のレベルも高まり、クラブの活性化になるのではないのでしょうか。各クラブの発展が、そのまま京都部の発展に繋がります。これからも、楽しく魅力あるクラブ作りを目指して共に切磋琢磨しながら下半期の活動にご協力をお願いいたします。



BF・ファンド事業主査 白濱 廣史

京都部12～13年度も7月からスタートして早い物で前期の六ヶ月が過ぎてしまいました。京都部のファンド事業としては何が出来たのかと考えてしまい反省ばかりの六ヶ月でした。7月20日に第一回のファンド事業懇談会を開催して西日本区の岡野ファンド事業主任に来て頂き27人のワイズメン出席のもと、意義の

有る意見交換が出来たと思います。有り難う御座いました、第二回目の懇談会も宜しくお願いします。

九月にはBF代表の告知をさせて頂いたのですが、十一月末の締切までに応募者が居られないと言う事に成ってしまい、PRが足らなかったのかと反省する次第でした。京都部は西日本区の中でもBF資金の成績ダントツに良いにも関わらず、前期も応募者ゼロと言う事だったので、今期は是非とも代表を出したかったので残念です。BFと言えば皆様もご存じの様に使用済切手を換金してBF資金に反映する事が出来ますので、今期はその換金を京都部が纏めて業者さんに送ってBFポイントに反映して頂きようとしたので、是非一月十八日に予定しております第二回ファンド懇談会にお持ち頂きたく思います。最後に成りましたが、半期は過ぎたとは言え、まだまだ半期が有りですので各クラブで頑張っておられるとは思いますが、クラブ内ファンドに付きましても京都部でお手伝い出来る事が有れば頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。



交流事業主査 高田 敏尚

I B C、D B Cの推進を方針の第一に掲げてきましたが、各クラブで協力いただきありがとうございました。

何より嬉しいのは、クラブ初のD B C締結に取り組んでいただいた京都ZEROクラブのおはたらきです。九州部部会（2012年10月20・21日）での阿蘇クラブとの締結おめでとうございます。部では、もうすぐ30周年を迎えられる京都キャピタルクラブがI B C、D B Cの新たな締結を希望しております。9月28日に各クラブ交流委員長懇談会を行いました。I B Cではなんといっても言葉の問題、そして遠くで疎遠になってきている状況が、D B Cでは相手のメンバーが減少してきているなど現状を交流しました。そんななかでも、合同で事業に取り組むなど継続しての交流に努力なさっていることも報告されました。まだ、数クラブが新たなD B C締結の具体的な動きをされています。自クラブ内、京都部の交流だけでなく、広く視座を国内に世界に向けていきたいものです。ワイズメンズクラブ国際協会に所属しているのですから。



広報事業主査 三科 仁昭

早くも半期を迎え、広報事業におきましては、船木部長の思い入れでP R委員会を開催し、京都部ホームページのリニューアルに取り組み、京都部メンバー様の交流と情報提供のお手伝いになればと、7月1日より新ホームページを立ち上げました。書庫的な機能は

もちろん、カレンダー機能搭載で、部の行事が一目で見られる事が特徴となりました。具体的な事業におきましては、各クラブ会長様はじめメンバー様のご協力により、9月に広報懇談会の開催で30名を超えるご参加をいただき、各クラブ様広報事業の内容を伺いし、IT化の波を感じることが改めてできました。その中で、F Bの活用に関しての問い合わせも多くあり、11月にIT交流会（基礎編）を開催し、25名のご参加をいただくことができ、多くの質疑もあり、今後におきます皆様のIT化の一助となればと思います。今期は、11月3日地域奉仕事業との共催で、ワイズデーを京都三条YMCAにて開催し、多くのワイズメン、学園関係者の方々のご参加をいただく事が出来、祇園祭を美しくする会の講演、ロールバックマラリアの展示で、ワイズメンの活動の一端を披露出来たかと思えます。10月7日地域奉仕事業との共催でAIDS文化フォーラムin京都（同志社大学）へ参加し、10月13日ZEROクラブ様G C S支援事業におきましては、まだまだ各クラブ様の潜在的な広報能力を見せて頂くことができました。11月17日ウエストクラブ様の京都府主催の婚活イベントでも、ワイズの名前をしっかりと府の関係者にもアピールされておりました。残りの半期は、再度のIT交流会の開催と、各クラブ様事業の対外的広報活動のサポートに重点化してまいります。



メネット事業主査 渡部 美代子

私にメネット主査のお話がありました。年齢的にも又体の不調も抱えていましたし、それにもまして パソコン等も出来ない機械音痴です、正直言って悩ましかったです。協力するからと一言 背中を押してくれた夫も通院しながら関節リウマチという完治する事のない病魔と闘う毎日です、ワイズに対する思いは人一倍強い気持ちがあります そんな思いをメネットの私に託したのでしょ お役をやる決心が出来ました。あれこれ考える余裕もなく 前に進むばかりです。主査の一大事業とも言える 京都部合同メネット会の開催が私の肩に重く押し掛かります、長年メネットとして よきにつけ 悪しきにつけ活動を通して人との出会い ふれあう中で経験 体験を重ねて来た事が生かされるようにと願っています。心配しておりましたメネット部会も皆さまで一人 ひとりの参加協力によって無事終わりとはいっています。

メネット主査事業報告

- *京都部メネット会長・連絡員 メネット懇親会開催
- *京都部合同メネット会 京都部内外より18クラブ65名の参加西日本区国内プロジェクト献金52,000円 若柳流若柳吟寿々社中による 日本の彩り演舞
- *部長公式訪問随員 京都キャピタルクラブ 京都クラブ 京都グローバルクラブに出席
- *京都部 びわこ部 中部 中西部 各部会に出席
- *京都ウエストクラブメネット例会に出席 国内プロジェクトへ献金 14,000円
- *京都ウイングクラブ25周年記念例会 ワイズディー&京都YMCA学園祭 国際協力街頭募金 等々

YMCA 各クラブのイベントに参加
当初はあわただしい毎日でしたが 長いようで短い半年でした。メン・メネットの皆様に感謝いたします。

各クラブ会長 上半期活動報告

京都ワイズメンズクラブ会長 杉本 仁郎

早いもので会長を拝命し早、半年が過ぎ折り返しとなりました。6月のリトセン夏季準備ワーク・7月のサバエ準備ワークや宵山夜店(収益はYMCAに献金)8月にはリトセンでのチャーム多文化キャンプ・暑かった9月のリトセン秋季準備ワーク・10月には第3回料理教室・11月はYMCA学園祭での「のど自慢大会」やリトセンオータムフェスタでの肉まんコーナーを担当・12月には、命の電話チャリティーコンサートのサポート等、三役に支えて頂き、事業委員長に先導して頂き、メンバーに協力して頂き、順調に予定の事業を消化しています。中でも特筆すべきは、EMC委員会におけるメンバー増強で1名(12月末現在)の新メンバーが仲間に加わった事、又 昨年度から始まった、月1回のお楽しみ会も毎月継続できています。ファンド委員会では、従来からのBFとは違った形のクラブ独自のBF(YBF)を発足致しました。YBFとはYMCAに特化したBF資金でYMCA職員・リーダー等が国内外へ研修等に行く際に使われる為の基金で、クラブ設立65周年にちなんで、今年度¥65万円でスタートし毎年一定額を積立されます。交流委員会では、昨年度から進めていました三島クラブ(富士山部)とのDBCが正式に決まり仮締結を行い交流が始まっています(本締結は6月に行います)。広報事業では、ネット中継が行われ、例会の様子等が、リアルタイムでネット動画配信されています。CS委員会では、新たな取り組みへの検討を開始いたしました。ブリテン委員会では、紙面の充実・月初の発行を行っています。又、京都クラブからの京都部部長輩出を検討するプログラムを立ち上げる事になりました。残り半期も楽しんでやっています。



福知山ワイズメンズクラブ会長 小林 稔

福知山クラブは少数メンバーですが、各自がそれぞれ努力を重ね、地域社会に密着した事業や青少年育成事業の奉仕活動に取り組みました。

7月キッオフ早々に第27回クリーン弘法川&魚つかみ大会をワイズ、YMCAと地元自治会、子ども会が共同作業として環境対策の一環として自然豊かな河川を守ろうと一斉清掃と大人も子どもと協力して真夏の厳しい暑さの中、鎌や草刈り機で沿岸の草を刈ったりゴミ拾いに汗を流しながら奉仕活動を行い、翌日は美しくなった清流に鮎やウナギを放流し小中学生は手に手にアミを持って魚を追いかけていた、YMCA会館前では幼児は金魚すくいであつた光景に思わず笑みがこぼれます。現代社会では無縁社会と言われる昨今ですが、魚つかみ大会を通して親と子の絆、地域の人と人との繋がりが深まり良き親睦の場と広がっています。



上半期の例会の9月例会では福知山YMCAブッククラブの活動状況を伺い絵本の読み聞かせをしていただき以前の絵本と異なり幼児や子ども達の心豊かな想像力を引き出させる読み聞かせと感じました。

12月のクリスマス例会は会員増強の一環としてメンバーが知人、友人を誘い合わせて多数の参加があり久しぶりに活気ある例会となり、祝会には厳粛な中で進行し、アトラクションに移ると雰囲気が一変し木村流大正琴の演奏には曲に合わせて声高らかに歌声が響き渡り会場内は大いに盛り上がりましたYMCAのヴァイオリン教室はモーツァルトのアベ・マリアのおごそかな演奏でクリスマス祝会は終了致しました。メンバーの、この活力を下半期に向かって活動の糧になることを願っています。

各クラブ会長 上半期活動報告

京都パレスワイズメンズクラブ会長 川勝 政男

7月のキックオフ研修会から5ヶ月が過ぎ、早いもので現在クリスマス例会の準備をメンバーで行っています。今期最初の事業のサバエ開設ワークでは、初めて記念植樹を致しました。そしてCS委員会が和敬学園生の将来の職業選択の参考になればという思いで行っている会社訪問では、彼らの礼儀正しいお礼の挨拶を聞きこちらこそ良い気持ちにさせられました。

8月の納涼例会は、琵琶湖湖畔ホテルド比叡で間瀬君の入会式を行いました。入会者より私の方が緊張して、ゲストの名前を間違えるミスをしてしまいご迷惑をお掛けしました。月中のリトセン豪雨災害復旧ワークの緊急でのメンバーの働きには、見張るものがあり特に堤ワイズのユニボの働きによりパレスの面目躍如たる活躍なしでは、終える事はなかったと思います。9月にEMC委員会の新人研鑽会では、新人からメンバーへ接待を行い、親睦を図る会も新旧が早く溶け込んでくれる機会を作ってくれました。

10月のポテトファンデでは、メンバーでの力を合わせた配達後の中央市場内で一緒に美味しい豪華弁当は、パレスクラブみんなで食べる事により連帯感を育んでくれました。またファミリー例会では、花脊の自然の中での素晴らしい例会を若いメンバーやメネットや小さなコメット達を川縁で見た時、まるで映画の1シーンの様で素晴らしい景色を見る事ができました。11月には、IBCを締結している香港九龍クラブ60周年記念例会に参加し、九龍クラブのメンバーと交流ができたのも委員会のお陰と感謝している次第です。そしてこれらの事業を常にニュースとして広報を行ってくれる広報委員会は、次にブリテンの英語版を準備してIBC締結しているクラブに送ってくれるそうで、締結先のクラブへのパレスクラブの理解がしやすくなると思います。これを小沢昭一的に言うところ「この様なパレスクラブメンバーと一緒にできる事に感動している心だぁ〜!!」



京都ウエストワイズメンズクラブ会長 市橋 清太郎

様々な活動の中から特にアピールしたい事業を二つ紹介します。



一つはEMC例会の開催。EMC・ドライバー委員会を中心となり、入会候補者のゲストの獲得はもちろん、例会の中身に趣向を凝らしました。できるだけお金をかけないで有意義な内容にしようと、高額なスピーカーなどは呼ばず、手作り感を前面に出し、まずはメンバー全員の紹介を兼ね人柄発信と題し「入会したきっかけ」「入会してよかったこと」「未来のメンバーへ」などのテーマに一言で答える動画を数珠つなぎにまとめて、例会内で上映しました。次に入会して2年以内のメンバー3名を選出して、パネルディスカッション。入会のきっかけと入会してから実際にどうか？をさらに掘り下げて生の声をゲストの皆様聞いて頂くことで、より入会を真剣に考えて頂くことがねらいでした。例会は大いに盛り上がり、メンバーにもゲストにも好評でした。ご参加頂いたゲストには今後もアピールを続けていきます（12月例会で2名入会式予定）。もう一つは京都府主催「婚活イベント」サポート。京都府主催のイベントに企画・運営で協賛することにより広報と広い意味での地域奉仕活動として参加。当クラブがイベントの中核となる交流パーティーの企画を行い、当日はイベント全体の運営を行いました。イベントは京都府下から広く独身の男女100名を募集する為、約10000枚のビラの配布や200枚のポスターが掲示され、それらの配布物には企画協力として京都ウエストの名が明記されました。イベントは成功に終わることができ、京都府に対するクラブ、ひいてはワイズの認知度と社会的信用度の向上に寄与できたと考えています。

各クラブ会長 上半期活動報告

京都めいぶるワイズメンズクラブ会長 馬場 正孝

京都キャピタルワイズメンズクラブ会長 山口 雅也

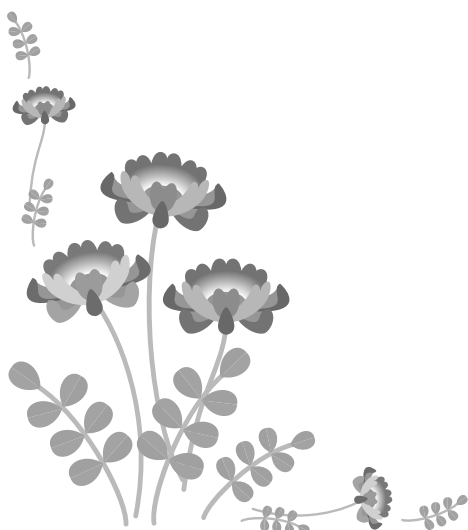


11月18日に積慶園でのYOU・友・フェスタでのお手伝いに参加しました。めいぶる名物の焼きそば300食をメンバーとゲスト2名の12名で朝10時集合して11時30分から14時まで積慶園の子どもたちと保護者また、その地域の方々に焼きそばをプレゼントいたしました。



ワイズメンズクラブに入会してから月日のたつのが早く感じるようになりましたが、特に今年はその思いが強く感じられます。クラブ三役の皆様、各事業委員長さん達の入念な準備と周知、クラブメンバー皆様のお支えを得まして、上半期も活発なクラブ運営をすることができました。さて、キャピタルクラブの「クラブ上半期活動報告」をさせていただきます。

<7月>リトセン夏の準備ワーク、サバエ準備ワーク2回、総会も無事成立し、そして部長公式訪問に船木部長、為国EMC主査、渡辺メネット主査にお越しいただきました。<8月>びわこ部会を筆頭に各部会への参加、納涼例会はレストラン菊水、第2例会にはウィングクラブが周年のアピールに来られました。リトセンの豪雨災害の緊急復旧ワークでは、メンバーの職業を活かした全面的なご協力で、目を見張る早さの回復ができました。パープル会ゴルフコンペ<9月>リトセン秋の準備ワークでは本格インド男カレー昼食作り。次期における「30周年記念実行委員会」の第1回実行委員会を開催。<10月>AIDS文化フォーラムに参加、今年は毎例会にYMCAのリーダーを2名ずつご招待し、YMCA報告をしていただいています。キッチンと事前のスピーチの準備を得て、例会の中にいつもフレッシュな風が流れています。毎年恒例のベテスダまつりの支援、ジャガイモファンド、お誕生日会、メネット懇親会など秋の行事のピークでした。<11月>国際街頭協力募金、オータムフェスタのドリンク販売、ファンド例会では岡野西日本区ファンド主任にお話しいただきました。<12月>YMCAわんぱくチャレンジクラブ支援、YMCAこおろぎさん共催のふれあい広場、忘年会、そしてクリスマス例会の開催。この上半期も例年通り、多くの活動をいたしました。



各クラブ会長 上半期活動報告

京都プリンスワイズメンズクラブ会長 小野 敏明

自らが主体性をもって積極的に参画する事をひとつの目標として始まった今期も上半期が終了。迫り来る事業やイベントにメンバー全員でしっかりと向き合えたのではと思う。恒例のサバエ開設ワークでキックオフした今期。例年よりも多くのワークを承り、メンバー全員が夕方まで濃密なワーク。屋外で共にアセして結果を得た経験は、その後のメンバーシップにとって大きな礎になった。また、他クラブとの交流も積極的に行い、部会への参加はもちろん、ウェルクラブ・グローバルクラブとの合同例会開催など、他クラブへ赴いて例会に参加し親睦を深められた。Yサ・CSでは、有志による青い空と白い雲のキャンプへの支援、専門学校学園祭への屋台出店、リトリートセンターオートムフェスタへの屋台出店など。逼迫する予算をマンパワーで補ってできる限りの協力ができた。屋外でのインフォーマルな集いはメンバーシップの開発では欠かせない要素であり、今後も積極的な参画ができればと思う。ファンド事業では各クラブに応援して頂いたスイカファンドを含め、ぶどうファンド、年越しそばファンド、東稜クラブ中畝ワイズにお世話になったお酒ファンドなど、ジャガイモファンド一辺倒を打破するべく、色々なファンドを立ち上げて頂いた。今後は、人気ファンドを定着させ、Facebookなどで各クラブへ広げたい。今期のクラブ運営方針としては基本【月2回のホテルでの例会】を軸にしっかりと据え、ホテルでの例会はフォーマルな例会とする。親睦は例会後のインフォーマルな懇親会や、屋外でのイベントやワーク、各委員会などで愉快地図る。親しき仲にも礼節を重んじるメンバーシップの開発し、その親睦エネルギーを奉仕に変える事を目標に下半期も挑戦します、せっかくの機会を楽しみながら。



京都センチュリーワイズメンズクラブ会長 大槻 信二

24年ぶりの会長職に、前回とは経てきた年数も又、自分自身の年齢も異なり、違った形で、取り組んで行けると思いスタートした今期ですが、特別な事も無く淡々と、スケジュールをこなしていたのではと反省ばかりの前半期であった様に思います。そんな中ではありますが、クラブの歴史とほぼ同じ期間継続している京都鷹峯の(福)白川学園さんとのお付き合いにおいては、今年も夏祭りにフランクフルトの屋台を出店させて頂き、園生の皆さん、そして関係者の皆さんに喜んで頂くことが出来ました。その直前のお盆前には、京都YMCAリトリートセンターが豪雨による大きな被害を受け、コメント(とうの昔に成人していますが)と共に、復旧ワークに参加した際には、京都市域の他クラブメンバーと一緒に汗を流し、改めて、京都部の仲間の力強さ、素晴らしさを感じさせて頂きました。その翌月には、部会のバナーセレモニーでセンターの花道をウオークするという晴れがましさと気恥ずかしさを経験。クラブ対抗では、入賞には至りませんでしたが、私自身が辞退を申し出ていたにも関わらず、クラブメンバーが、否応なしにステージ上へ引き出してくれ40年余り前の応援団時代の口上や三三七拍子を皆様に披露する機会を与えて頂きました。どんな賞よりも私を舞台上に引き出してくれたクラブメンバーの気持ちに感謝、感謝です。この素晴らしい仲間とともに、残された後半期も、白川学園の焼き芋大会や、25周年記念例会等、数々のプログラムを予定していますが、ワイズライフは楽しいと感じて頂ける様、努力して行きたいと考えている今日此の頃です。



各クラブ会長 上半期活動報告

京都ウイングワイズメンズクラブ会長 中村 誠司

25周年記念例会という大きなイベントを控えて勢いよくスタートを切りました。当日は京都部各クラブより沢山のワイズメンの皆様にご参加賜りまた暖かいお言葉を頂戴しました事、心よりお礼申し上げます。一年の期間をかけしっかりと構想を練り進めて参りましたが徐々にクラブ全体が活気づいていくのが伺えクラブの一体感を感じました。記念事業の「叶えようリーダーの熱い想い」では発想をリーダー目線に向けた事によりユース理解に一步前進出来たのではないのでしょうか。例会運営におきましては各委員会の運営の有り方など新メンバーに理解しやすいように委員会アワーを積極的に開催し、また親睦の意味も込めたメンバースピーチも行いました。Yサはリトセン開設閉設ワークやサバエワーク、府立医大小児科病棟のコンサート支援、京大子供病棟秋祭り支援など例年通りの事業を行い、そして青い雲と白い雲のキャンプ（病気子供とその兄弟のキャンプ）が今年で記念すべき10回目の開催となりました。キャンプと言えば親元を離れ少しの間に成長した子供に会うのが楽しみでありこのキャンプもそうですが、病気の子供達を対象という事もあり10回目の記念でもあるので今回は生き生きとした姿を見てもらおうと親御さんにもご参加いただきました。楽しそうな子供達の姿を見る親御さんの顔がとても印象的でした。そして初日の雨がウソのように2日目は快晴に見舞われ10年連続で気球を上げる事にも成功いたしました。これは奇跡的な確率のようです。地域奉仕はり・ブラン京都中京のバザーサポート、成望館夏祭りサポートの二つの通年事業と今年初めてIBC先の韓国金浦クラブとの合同事業として訪韓シムチを漬け障害

者施設や老人ホームへ贈呈しました。IBCでは韓国金浦クラブのコメットのホームステイなど多くの事業を行いました。下期も引き続きクラブの活性化に向け頑張っていきます。



京都洛中ワイズメンズクラブ会長 坂井 昇



例年通り、第一例会は7月8日サバエキャンプ場開設ワークでスタート。恒例となった特設アーチェリー場の草刈り、整備に汗を流す。約20メートルの練習場に、的台を設置し、メンバーも初めての試射を行う。約1週後の7月16日は三条YMCA前で祇園祭宵山に模擬店を出店、ポップコーンを販売、僅かですが売上を献金。8月の第一例会はサポート施設(つばさ園)の子供たち約30名と桂川松尾橋付近の河原で花火大会を実施。夕刻につばさ園に集合しメンバーの車に園児は分乗して河川敷まで移動。好天に恵まれたひと時を、花火に興じました。9月2日(日)つばさ園の園児19名、職員4名をサバエキャンプ場へ招待。リーダーのお世話でカヌー、バーベキュー、スイカ割りなどで、夏の終わりの1日を楽しみました。同時に昨年寄贈した水上バイクの琵琶湖への上げ下ろしに大変なご苦勞をされていると聞き、今年度はランチャーを寄贈、そのお披露目をして頂きました。10月14日第一例会は、ワイズポテトの引き取りで、朝早くから順次ポテト730ケース、かぼちゃ110ケースの積み下ろし作業を怪我無く無事終えました。洛中を退会したOBもポテトの販売に協力頂き感謝しています。21日の日曜日は野外ファミリー例会を雲ヶ畑の白梅スポーツクラブで開催。フィールドアーチェリーとバーベキューを楽しみました。11月4日は国際協力街頭募金に参加協力、八坂神社前で募金活動を実施しました。16日から20日にかけて、IBC締結している台北大橋クラブのメンバー5名が来日、京都に滞在されました。到着された16日の夜は宿泊先の旅館でIBCナイトを設定、洛中メンバー13名と鍋を囲み旧交を温めました。翌日からは、紅葉狩りに南禅寺、永観堂、神護寺、嵐山などを案内。25日にはリトセンオートムフェスタに、つばさ園児を招待、クラブはポップコーンを出店しました。



各クラブ会長

上半期活動報告

京都エイブル会長 大山 裕巳

京都グローバルワイズメンズクラブ会長 松谷 隆史

3月10日～11日、大阪チサンホテル於の次期研修会からスタートした、この期ももう12月上半期を終え、2013年を向かえ、次々期会長セレクションの時になりました。

7月10日、総会例会をスタート、12月まで毎月2回の例会を当初の計画近く実施出来たこと。少ないメンバーでしたがみんなが“be-Able-to”の基、クラブ員に感謝、感謝です。特に10月、新メンバーに若い江面（エズラ）智明さんが入会され入会式を行ったこと。11月には宇治市福祉祭りに例会として参画、市民から約5千人が参加され京都エイブルワイズメンズクラブのおもちつき、もち販売にワイズメンズクラブをPR出来たことです。親睦と福祉、奉仕クラブの本質をより深く理解してもらう様、もっと努力してゆきたいと思います。下半期にはCATT例会を計画しています。4クラブ合同、今回9回目ホストクラブです。楽しみにして下さい。



会長主題「奉仕の原点」を掲げ7月より我が京都グローバルクラブは、20期がスタート致しました。8月には、家族例会で鈴鹿サーキットに多くのメネット・コメット・ゲストの参加頂き、大変楽しい家族例会でした。毎月の周年事業の実行委員会では、記念事業のアクトでの議論が多く、メンバーの沢山の御意見を検討し合い、2013年の3月3日に向かって進んでおります。毎月毎月例会での会長挨拶は、大変緊張致します。9月に行われた京都部会での、クラブ対抗の素人名人会では、演目が中々決まらず、ギリギリに三役のメンバーと話し合い決まり練習も部会前日の一日だけでした。三役以外のメンバーにも内緒でしたので、成功するかは本番のみ・・・結果は良かったと思います。10月には、東日本区の宇都宮ワイズメンズクラブとのDBC締結の初のお見合いにも行って参りました。11月には宇都宮クラブのメンバーが我がクラブの例会に参加して頂き、お互いの例会を視察し合いました。お互いに印象は良く、グローバルクラブでは、DBC締結に向けて進む事に決定いたしました。20周年に締結できるよう。宇都宮クラブ様との打合せに全力しております。グローバルクラブのもう一つの顔であります、「子供達に笑顔」周年事業のアクト事業、20周年では、東北の子供達に笑顔が決まりました。仙台YMCA様を通じ事業を進める事が決まりました。ご報告は周年例会でのお楽しみにして頂いたとおもいます。12月には、2名の新しいメンバーも入り、61名にもなりました。また新しいパワーが加わったことで、大変嬉しく思います。クリスマス例会でも、多くのコメット・メネットと楽しいクリスマス例会が行われました。さて後期には20周年例会が開催されます。まだまだ気が抜く事はできませんが、三役・役員を始め、メンバー全員と3月3日の記念例会では、多くのワイズメンのお越しを心待ちにしておりますので、宜しくお願い致します。



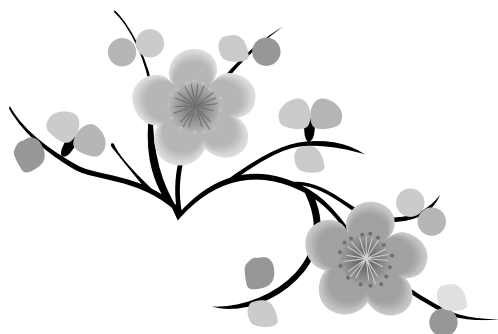
各クラブ会長 上半期活動報告

京都みやびワイズメンズクラブ会長 森 泰弘

京都トップスワイズメンズクラブ会長 牧野 篤文



上半期の事業は、地域奉仕事業では7月は障害者支援施設洛西寮の夏祭り模擬店出店、8月には、鴨川を美しくする会の鴨川納涼の模擬店出店、10月はAIDS文化フォーラムの参加協力、鴨川を美しくする会の鴨川クリーン参加、11月は、京都部ワイズデー参加、12月は、大阪水上隣保館児童養護施設遥学園のクリスマス祝会に参加及び記念品贈呈。YMCAサービスでは、7月のサバエ開設ワーク、8月のリトリートセンター災害復旧支援、9月はリトセン準備ワーク参加、11月は国際協力キャンペーンの街頭募金参加、リトセンオータムフェスタの模擬店参加、12月は市民クリスマスのロビーコンサートの演奏者支援を行ないました。交流事業に関しては、めいぷるクラブ、洛中クラブと初めて合同例会を部長公式訪問時に開催できました。ファンド事業では、8月には、鴨川を美しくする会の鴨川納涼の模擬店出店時にファンド商品販売を行い、11月は、ユースコンボケーション報告例会を行なった。下半期は、20周年記念事業をYMCAサービス記念事業としてユニカール競技のYMCA共催として開催予定です。地域奉仕事業として、今回で第10回の節目を迎える発達障がい児セミナーの共催を予定しております。



今季の会長主題は「トップス力の結集」です。その中で最も優先順位の高いイベントが、京都部部会です。我がトップスクラブは、今期船木京都部部長を輩出し9月9日に開催された京都部部会のホストを務めさせていただきました。この京都部部会は前期より実行委員会を立ち上げ、新山（アラヤマ）実行委員長中心に取り組んで来ましたが、今期もスタートから京都部部会の準備及びリハーサルを行うなど、「トップス力の結集」によりベテランメンバーから新入メンバーまで全メンバーの協力のもと、音と映像を取り入れ、参加頂く全てのワイズメンに少しでも元気になって頂きたい！との想いで、ゲスト嘉門達夫さんによる「元気が出るライブ」を行うなど、今までに無い京都部部会が開催出来ました。前半の7月、8月、9月はこの京都部部会一色でした。

10月は、IBC先である韓国釜山の西面クラブさんのメンバー、メネットさんが26日～28日まで来日来京されました。この交流事業も加藤隆司交流委員長を中心に「トップス力の結集」で素晴らしい交流が出来ました。歓迎会には全メンバー、多くのメネットが参加し盛大に懇親会を開催し、西面クラブの皆さんに大変喜んで頂きました。

11月は、EMC委員会の新しい試みで、八木EMC委員長中心にメンバーミーティングと第して、例会未参加のメンバー候補の方を中心にゲストでお招きして、オリエンテーション及び親睦会を行い新規メンバー獲得に向けての活動を致しました。その結果3名の新メンバーが入会されました。12月は、昨年7月の京都府南部豪雨によりリトセンの花壇が陥没しておりましたが、千賀Yサ委員長の呼びかけにより「トップス力の結集」で多くのメンバーの協力により復旧工事を行い花壇を復旧する事が出来ました。半期を振り返りますと、トップスクラブは一枚岩の結束で各事業に楽しんで取り組んで来ました。残り半期も「トップス力の結集」により特にメンバー増強に力を入れトップスの輪を更に大きく出来るように頑張りたいと思います。



各クラブ会長 上半期活動報告

京都トゥービーワイズメンズクラブ会長 荒谷 和可子

京都東稜クラブ会長 高安 秀樹

●15周年例会・・・10月1日(土)に15周年例会を開催しました。今期で15周年を迎えた我がクラブ「10周年から20周年へ向けた クラブの歴史のひと区切り」として沢山の方々をお招きする豪華な記念例会ではなく、トゥービークラブと関わりの深い方々だけをお招きし、トゥービーのメンバーみんなでクラブを振り返りそして未来を語り合う・・・という例会内容で、お庭の素敵なレストランでお食事とお酒を囲んでみなでリラックスしながらゆっくりとした時間を過ごしました。トゥービークラブに関わって5年程しか経っていない私ですが、これから飛躍するであろうトゥービークラブで私からの「未来宣言」なるものを、発表させて頂きました。皆さんに祝福して頂き、このクラブに入って良かったと思うそんな一日でした。



●15周年記念事業・・・藤尾連絡主事とお話しをし、先ず一番願っていることという事で、リトリートセンターの宿泊棟にエアコンを設置しました。これで宿泊棟全部にエアコンが設置されたので、どの部屋でも心地よく宿泊して頂けますと、よろこんで頂きました。

●EMCの小部屋・・・どのメンバー宅で開催しても楽しい小部屋ですが、11月10日(土)の齋藤ワイズ宅での小部屋は、20人以上の参加メンバーでゲストや、メネット、コメット、そして船木部長の参加もありとても盛り上がりました。兄妹でトゥービーメンバーの齋藤家は、ご家族もとても温かく素敵の方々。屋上を会場とし、伊都子ワイズのお料理も最高でした。その小部屋に参加されていた青木さんは、12月に入会式を終えられ、私たちの仲間となりました。交流による楽しさとそこからうまれる自己研鑽は最高です。

当クラブでは7月の14日・15日・16日の3日間、美しい祇園祭をつくる会に参加いたしましてゴミの収集とゴミ箱の前に立って分別収集の呼びかけを行いました。祇園祭は例年たくさんの人出ですが、露天やお店で買った飲食物のゴミをポイ捨てされるため地面にゴミが散乱して大変見苦しい状態です。ゴミ箱を設置しても置いておくだけではあつという間にいっぱいになり、ゴミが溢れてかえって汚くなってしまいます。そこでポイ捨てされたゴミを拾い集めつつ、ゴミ袋をこまめに交換したり、ゴミ箱の存在をアピールしてポイ捨てをしないように呼びかけることによって、綺麗な街で楽しくお祭りを楽しんでもらえるようになればと思って活動しております。各クラブにも参加をお願いしたところ、たくさんの方にご協力をいただきました事に感謝しております。またワイズデーには会の代表をされている松井様にお越しいただき活動内容や活動結果のパネル展示と講演をおこなっていただきました12月は留学生の方々を招いてリトリートセンターにてクリスマス例会を開催いたしました。これまでもゲストとして学生さんにご参加いただいたことはあるのですが、留学生との交流というのは当クラブでははじめてのことでした。今年のクリスマス例会はピザのトッピングをしてその場で焼いたり、焼きそばやちゃんちゃん焼き等を皆で作って楽しむというものでした。その中で餅つきをしたのですが、これも留学生の方達には大変喜んでもらえました。実際に杵を持って餅をついたり、真っ白になりながらできた餅を丸めたりと和気藹々としたものでした。当クラブのメンバーとしても貴重な経験をさせていただき、これから事業をおこなううえでの良い参考となりました。下半期も引き続き皆が楽しめる活動を行いたいと思います。



各クラブ会長 上半期活動報告

京都ウェルワイズメンズクラブ会長 中村 隆司



会長をされた皆様がよく仰られるセリフですが、本当にあっという間に半年が過ぎ去ってしまいました。只々ひたすら業務をこなしただけの上半期となってしまった様な気がしますし、全速力で駆け抜けてしまったので何をしたのかあまり覚えていない位あっという間に終わってしまった様な感じでもあります。まあ大変だったと言えれば大変だったし、楽しかったと言えば楽しかったし、前回会長をさせて頂いた時も同じ様な感情を抱いた様な記憶が蘇ってきます。しかし毎年同じ様な活動や事業をしても、考え方や見方、そしてちょっとした工夫をする事で新たな発見や感動があり新鮮な気持ちになれるのも事実です。上半期が終わり、ドロップアウトこそ出ていないもののメンバー増強と言う最大の課題が達成出来ておりません。勿論下半期もメンバー増強の部分が絶対的な課題にはなってくるのですが、とりあえず日々新鮮な気持ちになれるような活動や事業の行い方をし、ドロップアウトを防ぐ事も並行して力を入れて行かなくてはいけない部分であると思います。私自身と致しましては、常に違った観点から色々な物事を見てみたり、自分なりに工夫をして色々な事に取り組んでみたりして、毎年楽しくクラブライフを送らせて頂ける様、変化を付けております。それに毎年本当に沢山の色々な方と新しい出会いがあり、交流があり、それだけでも新鮮な気持ちになれるのではないのでしょうか。今期が始まる前、前回会長をさせて頂いた時に出来なかった事ややりたかった事を積極的に取り入れて行きたいと思っていたのですが、上半期には何も出来ませんでした。悔いが残らない様に下半期は精一杯頑張らせて頂こうと思っております。

京都ZEROワイズメンズクラブ副会長 河村 栄二

私たちZEROクラブも三期目を迎えることが出来ました。藤井隆会長の掲げた「たった一度の人生、やり残した事の無いように！、時空を超えて蘇る、そんな瞬間が作れたら!!」～の活動方針の下、上半期を過ごして参りました。病氣療養中の藤井会長に代わり私たちZEROクラブメンバー全員が一致団結し、力を合わせて活動してきた結果メンバー同士の絆を深めることができました。

主な活動に付きましては、第一に阿蘇ワイズメンズクラブとDBC締結ができたこと。Yサ事業委員会では、サバエ準備ワーク参加、北山陶板名画の庭でのGCS支援イベント「ShowTime」開催、国際協力街頭募金参加、リトセンオータムフェスタにて石窯での本格ピザ作り。地域奉仕・環境事業委員会では、スペシャルオリンピックス日本・京都鴨川チャリティートーチウォーク参加・支援。こぐま上野保育園夏祭り、春日野園保育まつりにて屋台提供を通じて地域の皆様と交流をしてきました。ドライバー委員会では、例会の内容を工夫し知恵を出し合ってクラブメンバーと参加して頂くゲストの皆様にも楽しんでもらえるような企画を考えてきました。ブリテン・広報事業委員会ではフェイスブックなどのITを活用してメンバー間の交流と広報活動に努めてきました。EMC事業委員会では、クラブバースデーやオリエンテーションに多くのゲストに参加して頂き三名の新会員を迎えることができました。

下半期も盛りだくさんのイベントを企画して、ワイズメンズクラブを盛り立てて行きたいと思っていますので今後ともZEROクラブに皆様からの暖かいご指導を賜りますように宜しくお願い申し上げます。

DBC締結



G・C・S支援イベント



次々期部長決定

2012年9月15日に告示しました次々期部長立候補につきまして、立候補者がございませんでした。京都部部則の定めに則り、所定の手続きにより京都トゥービークラブよりご推薦のございました。

「畑本 誠ワイズ」に

次々期部長を、お勤め頂くことと決定いたしました。

次期京都部役員決定

桂 厚子次期部長のもと、2013～2014年度、京都部を率いて頂く役員の皆様が決定致しました。

2013～2014年度京都部役員体制（敬称略）

役 職 名	氏 名	所 属
部 長	桂 厚子	京都ウエスト
直前部長	船木 順司	京都トップス
次期部長	畑本 誠	京都トゥービー
監 事	前 登	京都みやび
連絡主事	加藤 俊明	京都YMCA
書 記	安平 知史	京都ウエスト
事務局長	中原 一晃	京都ウエスト
会 計	島田 博司	京都ウエスト
Yサ・ユース事業主査	河合久美子	京都ウエスト
地域奉仕・環境事業主査	川上 孝司	京都パレス
EMC事業主査	小林 千春	京都パレス
ファン্ড事業主査	中原 茂	京都みやび
交流事業主査	西村 博一	京都
広報事業主査	八木 悠祐	京都キャピタル
メネット事業主査	柳 早知子	京都キャピタル

2013～2014年度各クラブ会長（敬称略）

ク ラ ブ 名	会長のお名前
京都ワイズメンズクラブ	佐々木 稔
福知山ワイズメンズクラブ	堀 京子
京都パレスワイズメンズクラブ	小西 孝典
京都ウエストワイズメンズクラブ	塚本 勝己
京都めいぶるワイズメンズクラブ	松村 康弘
京都キャピタルワイズメンズクラブ	金原 弘明
京都プリンスワイズメンズクラブ	荒木 利彦
京都センチュリーワイズメンズクラブ	片山 吉章
京都ウイングワイズメンズクラブ	奥村 賢三
京都洛中ワイズメンズクラブ	西村 和真
京都エイブルワイズメンズクラブ	浅森 一恵
京都グローバルワイズメンズクラブ	山藤 哉
京都みやびワイズメンズクラブ	石田 行雄
京都トップスワイズメンズクラブ	高坂 幸征
京都トゥービーワイズメンズクラブ	吉田 真理
京都東稜ワイズメンズクラブ	佐藤 私子
京都ウエルワイズメンズクラブ	中村 典子
京都ZEROクラブ	竹園 憲二

皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

2012～13上半期京都部の歩み

2012.04.20	Yサ・ユース 懇談会
2012.06.11	部PR委員会
2012.06.24	リトセン夏季準備ワーク
2012.06.24	第1回部評議会
2012.07.01	サバエワーク
2012.07.06	第1回部役員会
2012.07.07	メネット会長・連絡員懇談会
2012.07.08	サバエワーク
2012.07.17	部長公式訪問 京都キャピタルクラブ
2012.07.19	部PR委員会
2012.07.20	第1回ファン্ড懇談会
2012.07.25	部長公式訪問 京都トゥービークラブ
2012.07.27	第1回EMC懇談会
2012.08.02	部長公式訪問 京都ウイングクラブ
2012.08.03	第2回部役員会
2012.08.13	部長公式訪問 京都クラブ
2012.08.16	部報第1報（HP）
2012.08.18・19	リトリートセンター豪雨災害復旧ワーク
2012.08.19	青いそら白い雲キャンプ
2012.08.21	部PR委員会
2012.08.22	部長公式訪問 京都グローバルクラブ
2012.08.24	地域奉仕・環境懇談会
2012.09.02	リトセン秋季準備ワーク
2012.09.07	第3回部役員会
2012.09.09	第2回部評議会
2012.09.09	京都部合同メネット会
2012.09.09	第17回京都部部会
2012.09.14	広報懇談会
2012.09.18	部PR委員会
2012.09.21	第2回Yサ・ユース懇談会
2012.09.26	部長公式訪問 京都パレスクラブ
2012.09.28	交流懇談会
2012.10.03	部長公式訪問 京都プリンス・京都ウエルクラブ
2012.10.05	第4回部役員会
2012.10.06・07	第2回AIDS文化フォーラム
2012.10.09	部長公式訪問 福知山クラブ
2012.10.11	部長公式訪問 京都東稜クラブ
2012.10.13	GCS支援イベント スクエアパーティー 京都ZEROクラブ
2012.10.16	部PR委員会
2012.10.22	鴨川チャリティートーチウォーク
2012.10.23	部長公式訪問 京都エイブルクラブ
2012.10.28	京都ウイングクラブ25周年記念例会
2012.11.02	第5回部役員会
2012.11.03	ワイズデー YMCA学園祭
2012.11.04	京都YMCA国際協力街頭募金
2012.11.09	IT交流会 広報事業
2012.11.16	第2回EMC懇談会
2012.11.17	婚活支援事業 京都ウエストクラブ
2012.11.22	部長公式訪問 京都ウエストクラブ
2012.11.25	オータムフェスタ
2012.11.30	第3回Yサ・ユース懇談会
2012.12.07	第6回部役員会
2012.12.17～21	ロビーコンサート
2012.12.18	部PR委員会
2012.12.21	京都YMCA市民クリスマス

第17回京都部部会決算

部会ホスト 京都トップスクラブより部会決算が、京都部役員会に提出され、審議の結果承認されました。

項 目			金 額
収入の部	登録費（振込）	10,000円×458名	4,580,000
	登録費（現金）	10,000円×4名	40,000
	市長会費	10,000円×1名	10,000
	京都部補助金	1,000円×498名	498,000
	トップスクラブ補助金		35,810
	収 入 合 計		5,163,810
支出の部	式典・懇親会（部屋料）		180,075
	料理・飲物		2,996,000
	式典・懇親会（設備・備品等）		879,375
	公演・司会		735,000
	映像演出費		230,000
	事務印刷費		143,360
	支 出 合 計		5,163,810

● ● ● 下半期の予定 ● ● ●

2013.01.11	第7回部役員会	2013.03.01	第9回部役員会（現・次期合同）
2013.01.13～14	西日本区次期役員研修会	2013.03.03	京都グローバルクラブ20周年記念例会
2013.01.17	部長公式訪問 京都センチュリークラブ	2013.03.09～10	次期会長・主査研修会
2013.01.18	第2回ファンド事業懇談会	2013.03.10	京都YMCA 卒業リーダー祝会
2013.01.19	京都洛中クラブ25周年記念例会	2013.03.17	部チャリティーゴルフコンペ
2013.01.25	京都YMCAチャリティーコンサート	2013.03.31	京都みやびクラブ20周年記念例会
2013.02.01	第8回部役員会	2013.04.05	第10回部役員会
2013.02.03	京都YMCA 国際協力フェスティバル	2013.04.14	京都センチュリークラブ設立25周年記念例会
2013.02.08	ユース組織 第1回設立準備委員会	2013.04.28	夜桜フェスタ
2013.02.09	創立124周年記念会員集会	2013.05.10	第11回部役員会
2013.02.10	第3回部評議会	2013.05.19	かもがわチャリティーラン
2013.02.17	全国車椅子駅伝	2013.06.07	第12回部役員会（現・次期合同）
2013.02.19	部PR委員会	2013.06.16	12～13年度 第4回部評議会
2013.02.24	部CSチャリティーボウリング	2013.06.16	13～14年度 第1回部評議会
2013.02.	部報2号発行（印刷・HP）	2013.06.22～23	西日本区大会（名古屋）
		2013.06.30	部報第3号発行（HP）



第18回 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区 京都部部会

開催のご案内（第一報）

- ◆ 開催日 **2013年9月1日（日）**
- ◆ 開催時刻 **16:00（登録開始15:00）**
- ◆ 場所 **ホテルグランヴィア京都**

詳細は近日中に発表!!
乞うご期待。
多くの参加をお待ち致しております。



ホストクラブ：京都ウエストワイズメンズクラブ